

報告第2号

平成30年度 事業計画

平成 30 年度事業計画

社会保障制度の持続の可能性を確保するため、世代間・世代内の不公平の是正を目指した改革への取り組みが本格化し、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が急務となっている。

平成 30 年度は、診療報酬・介護報酬等の同時改定や医療及び介護等に係る各種計画の節目になる年であり、医療・介護提供体制の充実、疾病予防・健康づくり、負担能力に応じた公平な負担と給付のあり方、診療報酬及び医薬品等に係る改革等を有機的に連動させて着実に取り組んでいくことが求められている。

こうした中、厚生労働省は薬剤師と薬局のあり方に変革を求めるとして、平成 27 年に「患者のための薬局ビジョン」を公表し、現在の薬局を「かかりつけ」に再編する道筋を示している。また、内閣府の経済・財政再生アクション・プログラム 2016（平成 28 年 12 月 21 日）では、患者のための薬局ビジョンの進捗状況を把握・評価する指標（K P I）として、『「患者のための薬局ビジョン」において示す かかりつけ薬剤師としての役割を發揮できる薬剤師を配置している薬局数』が位置付けられたところであり、加えて薬局機能情報提供制度の拡充として、①健康サポート薬局に係る研修を修了した薬剤師の人数、②電磁的記録による薬剤服用歴管理の実施の有無、③薬剤情報を電磁的記録により記載するための手帳を所持する者の対応の可否、④医療を受ける者の居宅等において行う調剤業務の実施件数、⑤健康サポート薬局に係る研修を修了した薬剤師が地域ケア会議その他地域包括ケアシステムの構築のための会議に参加した回数、⑥患者の服薬状況等を医療機関に提供した回数などの報告項目が新たに追加され、平成 31 年 1 月 1 日から施行される。

平成 28 年 4 月施行の「健康サポート薬局」はかかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、薬や健康、介護用品等に関する相談にも応ずる薬局であり、本会では健康サポート薬局に常駐する薬剤師の資質確保のための健康サポート薬局に係る研修を引き続き提供し、着実な普及推進を図っていく。そして、医薬品の一元的・継続的な薬学管理指導と医薬品等の供給と地域包括ケアシステムの中で地域住民の相談役としての役割を担う、かかりつけ薬剤師・薬局の普及推進を図るとともに、患者の医療安全の確保のための取組みの一層の推進を図る。

また、非常に厳しい医療保険財政の状況の中、平成 30 年度の診療報酬及び介護報酬等が改定された。現在の医薬分業に対する厳しい指導が見られる中で、診療報酬本体がプラス改定となり、医科改定率に対する調剤改定率の配分も堅持（医科 1：調剤 0.3）された。かかりつけ薬剤師の評価、地域医療に貢献する薬局の評価、在宅薬剤管理指導業務の推進、対人業務の評価の充実等が示されたものの、後発医薬品の普及促進などに伴う備蓄医薬品に係る負担や高額医薬品が増える中、薬価等の引き下げのほか、前回の改定に引き続き別枠で講じられている大型駅前薬局に対する適正化の措置を考

慮すれば、今回も保険薬局の経営に厳しい内容であると言わざるを得ない。とはいえその一方で、特定の保険薬局群を対象とする適正化措置については、複数の薬局の不始末に対して社会から受けた指摘がその遠因であることを踏まえれば、残念ではあるが職能団体として甘受せねばならない。本会としては、今回の診療報酬等改定のための貴重な財源を、患者そして保険医療の質の向上のために活用していくとともに、「患者のための薬局ビジョン」の着実な実現に向けて積極的に取り組んでいくほか、すべての薬剤師・薬局が「かかりつけ薬剤師・薬局」として地域住民の健康をサポートし、国民の健康な生活を確保するという薬剤師の任務を全うできるよう、引き続き支援するための対策に取り組む。

以上を基本として、地域・職域薬剤師会等との連携の下、本年度は薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂版への対応を含む薬剤師養成教育への対応、生涯学習の充実・学術活動の推進、薬剤師・薬局機能の充実及び医療安全対策の推進など、県民の健康な生活の確保・向上に寄与するために次の事業を実施する。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

＜公益目的事業＞

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

- 1 薬剤師養成のための薬学教育への対応 [定款4条1項1号関連]
 - (1) 認定実務実習指導薬剤師の養成
 - ア 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
 - イ 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
 - (2) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
 - (3) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力
 - (4) 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」対応の研修等の実施
 - (5) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力

- 2 生涯学習の充実・学術活動の推進 [定款4条1項1号関連]
 - (1) 生涯学習の充実

- ア 日本薬剤師研修センター及び日本薬剤師会が実施する生涯学習事業への協力
 - イ e-ラーニング等による生涯学習・研修システムの検討
 - ウ 臨床及び疫学研究に関する倫理審査等への対応
 - エ 次世代薬剤師指導者研修会の開催
- (2) 学術活動の推進
- ア 第51回日本薬剤師会学術大会（石川大会）への参加
 - イ 第51回東海薬剤師学術大会（静岡大会）の開催

3 薬剤師・薬局機能の充実及び医療安全対策の推進

[定款4条1項2号・3号・4号・5号・7号関連]

- (1) 健康サポート薬局制度の推進
- (2) 「薬と健康の週間」関連事業の推進
 - ア 「薬と健康の週間」関連事業への助成
 - イ 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力
 - ウ 医薬品及び健康づくりに関する啓発イベントへの協力
- (3) 医薬分業の質的向上を図るための対策
- (4) 調剤過誤防止対策の推進
 - ア プレアボイド事例の収集及び提供
 - イ 調剤過誤防止・医療安全管理講習会の開催
 - ウ 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力
- (5) 要指導医薬品・一般用医薬品販売に関する講習会の開催
- (6) 「お薬手帳」の普及・推進
- (7) 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

4 医薬品等情報活動の推進

[定款4条1項2号・7号関連]

- (1) 医薬品情報管理センターの運営
 - ア 医薬品等に関する情報の収集及び解析
 - イ 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供
 - ウ 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需
 - エ 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進
 - オ 医薬品情報管理センターのあり方の検討
- (2) 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力

5 公衆衛生・薬事衛生への対応

[定款4条1項3号・4号・7号関連]

- (1) 学校薬剤師活動の推進
 - ア 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施
 - イ 学校薬剤師講習会の開催
 - ウ 「学習指導要領」の改訂に伴う学校保健教育に係る学校薬剤師活動の検討
 - エ 学校環境衛生活動の充実の検討

- (2) 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応
- (3) 静岡県の「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」「危険ドラッグ撲滅運動」への協力
- (4) スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進
 - ア 日本アンチ・ドーピング機構「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力
 - イ 静岡県体育協会等によるアンチ・ドーピング活動への協力
 - ウ スポーツファーマシスト・スキルアップ研修会の開催
- (5) 新型インフルエンザ等対策への対応

6 地域包括ケアシステムを踏まえた地域医療、介護、保健等の提供体制の取り組みの推進 [定款4条1項5号・7号関連]

- (1) 医療計画等各種計画及び医療提供体制等への参加・連携促進
 - ア 薬剤師の医療、介護提供体制への参加、多職種との連携促進
 - イ がん対策
 - ウ 認知症対策
- (2) 多職種連携（チーム医療）の推進
 - ア 臨床体験実習プログラム研修の実施
 - イ 薬局薬剤師のスキルアップ研修の実施
 - ウ 在宅訪問実施可能薬局登録制度の推進
 - エ 介護支援事業所等向けの「お薬出前講座」の実施
- (3) 病院・診療所薬剤師との連携（薬薬連携）の推進の検討
- (4) 在宅医療推進のための環境整備
 - ア 麻薬小売業者間譲渡許可制度の推進
 - イ 医療材料等供給体制整備の推進
 - ウ 薬剤師確保対策の推進
 - エ 訪問薬剤管理指導業務の啓発
 - オ 無菌調剤等技術習得の支援

7 医療保険制度・介護保険制度への対応 [定款4条1項3号・4号・7号関連]

- (1) 調剤報酬・介護報酬請求の適正化
 - ア 調剤報酬・介護報酬請求事務講習会の開催
 - イ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣
 - ウ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施
- (2) 調剤報酬・介護報酬改定に関する情報の収集及び提供

8 災害時等の医薬品の確保・供給への対応 [定款4条1項6号・7号関連]

- (1) 災害時における医薬品等の確保・供給のあり方の検討
- (2) 災害時の救援活動等への準備・対応

- ア 大規模地震発生時における災害対策本部の立ち上げ及び被害状況調査等に関する防災訓練の実施
- イ 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
- ウ 静岡県災害薬事コーディネーターの養成
- エ 災害時における携帯電話情報連絡システムの普及

9 広報活動の推進

[定款4条1項4号・7号関連]

- (1) 会報の発行
- (2) 静岡県薬剤師会ホームページの充実
- (3) 薬剤師職能メディア啓発事業の実施

<収益事業>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

<管理部門>

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 地域・職域連絡協議会の開催
- 4 危機管理（災害対策を含む）への対応
- 5 日本薬剤師会HPKI（Health Public Key Infrastructure：保健医療福祉分野の公開鍵基盤）認証局（薬剤師資格証の発行）への対応
- 6 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 7 日薬共済部、薬剤師年金、薬剤師国民年金基金、薬剤師賠償責任保険及び個人情報漏洩保険への加入の促進
- 8 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 9 静岡県薬剤師会館の管理運営